

ちょっと昔のおもしろ体験

「むかしの道具を見て聴いて触ってみよう」

10/1
(日)

「持てるかな？」

「ものを運ぶ道具」



内 容 昭和期以前の日本では陸路で物を運ぶとき、背負子^{しょいこ}、背負い籠、背負い桶^{にない}、担い棒、風呂敷などの道具を使い、運ぶ物の形や重さ、運ぶ距離など、それぞれに合わせた方法を取っていました。道路の整備が進み、自動車が交通手段として台頭してくる前の昭和半ばころまで使われていた「運ぶための道具」を紹介します。

腕の筋肉より脚・体幹筋肉の方が大きく強いので、「手で持つ」よりも、今回紹介するこれらの道具のように「背負う」「肩で担ぐ」方が体の負担を減らすことができるそうです。さて、本当でしょうか。実際に荷物を入れて背負って昔の人と力比べをしてみませんか。

日 時 令和5年10月1日（日）10:00～15:00

場 所 島田市博物館 分館（旧桜井家住宅）

対 象 どなたでも参加大歓迎（参加者多数の場合は少し待っていただく場合があります）

参加料 入館料のみ（中学生以下は入館料無料）

〒427-0037 静岡県島田市河原2丁目16番5号 TEL・FAX (0547) 34-3216

島田市博物館分館